第６回　国公私３大学環境フォーラム

報告書

1．実施概要

１）概要

・テーマ：持続可能な社会に向けた環境科学

・開催日時：2019 年 9 月 20 日（金）13：00～17：10

・開催場所：福岡工業大学 FIT ホール 2 階　セミナー室

２）参加者：68 名

・3 大学教職員：20 名

・3 大学学生：42 名

・運営スタッフ：4 名（社会連携室）

・学外：2 名

2．実施内容

１）共同研究シーズ発表（13：10～14：40）

共同研究シーズ発表では、8 名の教員が発表を行った（長崎大学 3 名・熊本県立大学 2 名・福岡工業大学 3 名）。各大学 30 分程度の時間が割り当てられた。発表テーマは、環境毒性学、観光公害、海洋植物の保全（以上、長崎大学）、電力需給予測、真空調理の利用特性（以上、熊本県立大学）、企業の社会的責任、魚類の生態、防災（以上、福岡工業大学）など多岐にわたった。研究者にとって日ごろ接することの少ない発表テーマが多く、新しい発想と大学間連携のきっかけとなった。

２）ポスターセッション（15：00～17：10）

ポスターセッションでは、37 件のポスターについて 42 名の発表者が参加した。ブロックを区切り、各自 1 分程度のフラッシュトーク（概要説明）を行った後、オーディエンスが自由に移動しながらポスター発表について追加質問をする形式だった。学生たちは真剣に発表を聞き、発表者と積極的に話し合う姿が見られた。学生のポスターも様々なテーマが発表され、環境というキーワードを媒介にお互いに理解を深め、大いに刺激を受けることができた。会場には教員も参加し、ポスター内容について質問やコメントをした。学生たちにとっては、日ごろ発表のチャンスが少ないなか、自分の研究内容を吟味し改善につなげるための貴重な時間になった。

3. 感想と課題

社会連携室の献身的なサポートがあり、成功裏に第 6 回環境フォーラムを終えることができた。研究シーズ発表とポスターセッションには多数の教員と学生が参加し、真剣に発表を聞く様子が見られた。学生たちには研究者の発表を体験でき、環境に関する幅広い知見に触れられる有意義な時間となった。

だが、フォーラムの当日スケジュールを考えると、時間的な制約がある。結果的に、研究シーズ発表については、質疑応答の時間が取れない構成となった。質疑応答ができれば発表に対する理解がさらに深まり、連携の可能性がアップすると思われる。

4. 今後に向けて

年 1 回のイベントだと、研究者同士が理解を深め、科研費採択などを通じた共同研究の実現になかなかたどり着くことが難しい。そのため、まずは学部長レベルで年 2 回程度会合を開き、学部間の交流の可能性を探ることにした。

交流を促進するという目的を考えれば、現在の研究シーズ発表と学生ポスターセッションにこだわる必要はない。環境フォーラムの準備と発表者の募集など、その大変さを考えれば、もう少し交流に主眼をおいた形式に移行してもいい。例えば、各大学の環境関連イベントに他大学が参加する方法や、3 大学連携の勉強会を開く方法が案として出された。学生のレベルでは、休みの時期にゼミ派遣などを通じた交流が考えられる。具体的な交流の可能性は 3 大学の学部長会合で決める予定である。

以上

文責：尹　諒重